

辰野町 議会だより



Tatsuno Town
Council News

～桜花爛漫

光に満ちた春～

第49号
平成25年(2013年)
5月1日



荒神山公園さくら祭

3月定例会

常任委員会活動から……………P 2～7

私の一声……………P 8

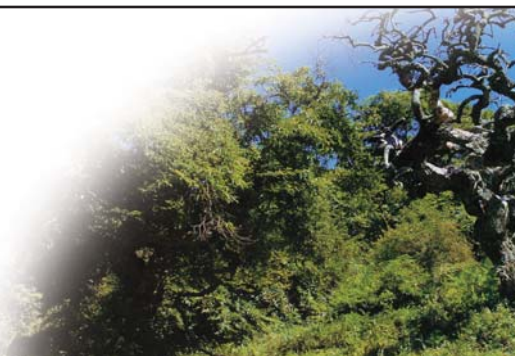


入学式

委員会審査から

総務産業常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 陳情審査



3月定例会

3月定例会は3月5日から19日までの15日間で開催され、平成25年度一般会計予算など予算関連24件、条例の制定・改正が17件、辰野町道路線の認定・廃止が2件の43議案が原案どおり可決され、人事案件1件の同意がされました。

委員会審査

3月13日から15日にわたって各委員会に付託された平成25年度予算について審査をいたしました。
主な質疑は以下のとおりです。

● 予算審査

一般会計

歳入

固定資産の地価の下落による土地課税標準額の減少や各種交付金の減額が見込まれるなか、個人住民税の税制改正による

5千万円増を見込んだ総額79億2千300万円の予算となっています。

問 軽自動車税は。

答 中古車の名義変更、減免対象車両の増を見込んでいます。

問 地方揮発油譲与税は。

答 揮発油税の42%が市町村へ交付され、道路延長や面積で配分される。対前年度比6千万円増を見込んでいます。

問 地方消費税交付金が減額されている理由は。

答 1/2が人口、従業者数に応じて交付されている。個人消費の落ち込みから2千万円の減額を見込んでいます。

問 民生児童福祉負担金は。

答 全児童は減少しているが階層区分に当てはめると200万円の増額予算となっている。

問 身体障害者支援事業は。

答 施設に入る障害者の措置費用900万円の増額で国が1/2負担。

歳出

■ 議会費

問 議会費は。

答 9千700万円で対前年度比800万円の減額。

■ 総務費

問 新病院の充実には。

答 新たに職員の人事評価制度を導入、研修などの他「職員のこころ支援相談窓口」を予算化。

問 庁舎の老朽化対策は。

答 耐震改修工事実施設計を委託すると共に、経年劣化(27年)の非常用自家発電機の設置工事費を予算化している。

問 交通不便の解消策は。

答 新規事業として交通不便地域解消のための、デマンド型乗合タクシー運行事業を予算化している。

問 協働のまちづくりは。従来の活動に加え、新たに「辰野町移住定住促進協議会」の立ち上げに伴う補助金を予算化している。

問 防災行政無線の不感地帯対策は。

答 不感地帯の伝搬測定を行い、無線中継局新設により、その解消を図りたい。

問 滞納整理は。

答 実績は上がっている、滞納機構委託3年目となる平成25年度も7件を移管し予算化している。

問 農林水産業費

問 有害鳥獣対策は。徐々に成果が上がっている、鳥獣被害対策実施隊と広域捕獲事業、猟友会の補助を行ない、今後被害軽減につとめてゆく。

問 商工費

問 プレミアム商品券の発行は。

答 商工会とタイアップして1回を予定している。

問 土木費

問 住宅リフォーム補助金には制約があるのか。

4月1日より運行開始



【答】 30万円以下のリフォー

ム、単品の購入などは対象外である。

【問】 社会資本整備事業の内容は。

【答】 上辰野中道線・羽北東西線の調査測量及び中央道にまたがる四橋の補修工事。

【問】 都市公園大型遊具設置場所について。

【答】 ほたる童謡公園・荒神山スポーツ公園の遊具。

■ 消防費

【問】 災害に備えては。

【答】 宮木・平出・沢底・樋口区の消火栓4基の新設及び72時間対応型の非常用発電機設置、更には消防団第二、第三分団へ軽4WD小型ポンプ積載車の更新配備。

特別会計

■ 上水道事業会計

給水収益は前年度当初比715万円増額の3千900万円として見込み、受託工事収益に沢底穴山第3堰堤工事に伴う仮設工事の負担金を予算化し

ています。

【問】 上水道の今後の見とおしは。

【答】 上水道、簡易水道含め現状分析、10年先までの目標で将来構想策定の予算化、湯舟PC配水池更新事業が終了し、平出PC配水池の耐震化に向けた基礎調査と基本計画の策定の業務委託を予定している。

■ 辰野町簡易水道会計

8簡易水道の維持管理費、鴻ノ田簡易水道の配水管改良工事費及び実施設計委託料が主なものです。

■ 小野簡易水道会計

施設の更新を計画的に実施するなかで、施設の維持管理と良質な水道水の安定供給のために、上水道との統合にむけ、資産調査を実施します。

【問】 小野簡易水道の今後は。

【答】 藤沢地区において、平成25年度水源探査のため、平成26年度掘削の予定、平成26年4月1日に辰野町上水道と経営統合。

■ 公共下水道会計

供用開始以来20年以上が経過し、水洗化も順調にすすんでいる。今後も下水道への接続の普及と処理場の適正な維持管理をおこなうため、水処理センターの耐震化設計、長寿命化設計を実施します。

■ 小野特環公共下水道会計

供用開始以来15年以上が経過し、水洗化も順調にすすんでいる。今後も下水道への接続の普及と処理場の適正な維持管理をおこなうため、公共管路台帳のシステム化及びセンサー長寿命化基礎調査を実施します。

■ 農業集落排水会計

下横川、沢底、辰野北部、辰野北部西、上横川地区計5処理施設の維持管理が主なものです。平成25年度はマンホールポンプが絶縁低下のため、予備ポンプの購入を実施します。

■ 地域情報告知システム

地域情報告知システムは、供用開始2年目をむかえ、加入促進を図るとともに、必要な生活情報・緊急

情報の確実迅速な伝達を実施します。システム更新により緊急時にはテロップ放送が可能な仕組みに改良との事です。
以上一般・特別会計予算8議案について慎重に審査を行い全員一致で可と決しました。

● 要望書

3月定例会要望事項として次の事項について町長あて要望書を提出しました。
①空き家再利用等の助成制度について

人口減少が生じ空き家も増加しているなかで、新年度は辰野町移住定住促進協議会の発足が予定されているが、定住人口の増加にむけ多角的な実効策、例えば空き家をリフォームし借家や売り家とする場合などの経費の一部を助成し、再利用の推進を図る事も人口増の一策と考えるが、如何かなどの提案も含め要望しました。

● 条例審査

◆ 辰野町鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定について

◇ 野生鳥獣による農作物等への被害を防止する辰野町鳥獣被害対策実施隊を設置するための条例です。

【問】 実施隊への優遇措置について

【答】 狩猟税の軽減、公務災害の適用、技能講習の免除などがあります。

◆ 辰野町町道の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

◇ 道交法の一部改正により
1. 町道の構造の技術的基準

※独自基準として①歩道の最低有効幅員は2.0mを1.5m
②植樹帯の幅員1.5mを1m以上③退避所の長さ20mを10m以上など

2. 町道に設ける道路標識の寸法

3. 自動車専用道路と道路等の交差の方式の特例についての条例です。

【意見】 地域の自主性・自立が高まる。

◆辰野町準用河川管理施設等の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

◇河川法の一部改正により準用河川管理施設等の構造の技術的基準を、地域の特性を勘案して町が定める条例です。

◆辰野町公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について

◇下水道法の改正により
1. 町が作る下水道施設の材料や作り方に関する基準
2. 汚水を衛生的に処理する施設を管理する基準の条例です。

意見 町の実情に応じて町独自の基準を定める事が可能ならば、むしろ地域の自主性が高まる。

◆辰野町都市公園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について

◇公園内における高齢者・障がい者の利便性・安全性の向上を図るためのもので、この条例は荒神山スポーツ公園、ほたる童謡公園へ適用となります。

◆辰野町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

◇これまで国が全国一律に定めていた公営住宅の整備基準及び入居者資格について、町で定める条例です。

問 改正点は。

答 裁量階層の対象世帯について同居者に小学校就学前の子がいる世帯を、

中学校を卒業する迄の子がいる世帯に拡大する。

意見 就学中の子供を持つ親の立場に見合った条例改正である。

◆辰野町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

◇地方公営企業法の改正により、水道事業の設置等に関する条例の一部改正であり、利益処分の方法及び積立金の取崩し又資本剰余金について明文化した条例

問 繰越欠損金はいついつの分まで埋められるか。

答 過去何年でも可能である。

以上7議案、全員一致で可と決しました。

議会議場視察報告

3月15日総務産業常任委員会は、平成25年度予算に組み込まれた4事業に対して現場視察を実施しました。

一、役場庁舎非常用自家発電機設置工事

災害発生などで停電になった時稼働させるもので、既存のものは27年経過しており長時間運転ができないため、今回3千400万円の予算で設置します。

二、中央道に架かる平出越道橋の補修工事（社会资本整備総合交付金事業）

いま全国的にトンネルや橋の補修工事が実施されていますが、ここでも漏水によるコンクリートのはがれが始まっています。予算は2年計画で3千500万円です。

三、鴻ノ田地区の町道58号線の整備事業（辺地総合整備事業）

鴻ノ田地区内の町道を幅員4メートルに改良する工

事で、平成24年度291メートル実施完了しており平成25年度は420メートルが計画されています。予算は3年で総額5千80万円です。

四、ほたる童謡公園大型遊具設置工事（社会资本整備総合交付金事業）

現在ある大型遊具が古くなっておりそれを更新する事業です。平成25年度予算は1千600万円です。ほたる童謡公園内の工事計画は、この他に「安全防護柵設置工事」「駐車場改修工事」「太陽光発電設置工事」「カワニナ飼育試験水路工事」があり現地確認をしました。



ほたる童謡公園遊具

陳情審査

地方交付税制度の堅持を求める国あて意見書採択を求める陳情

提出者

上伊那地区労働組合会議
議長 赤羽 知道

この陳情は、地方交付税を削減し、その財源を地方公務員の給与切り下げに求めるとする点に歯止めをかけるよう、国の関係機関へ意見書提出を求めるとした陳情です。

辰野町の普通交付税の削減分は「地域の元気づくり推進費」でカバーされ、給与削減については、改定をしないままでも辰野町のラスパイレス指数は100以下であり、割増制度にて補償され、減額とはならないといった説明があり、議論の結果全員一致で採択に決し、本会議において意見書も可決され、国あて提出いたしました。

委員会審査から

福祉教育常任委員会

- 予算審査
- 条例審査
- 陳情審査



● 予算審査

一般会計

歳出

■ 民生費

問 児童福祉費の前年に對する大幅増加について。

答 羽北保育園の耐震工事に係わる工事請負費が増加している。



問 今年新たに取組む、結婚推進事業について。

答 1 人分の委託料 340 万円を予算化している。

意見 重要な取組みであり専門的な経験を持った人材をあて長期的視点に立って継続的に実施すべきである。

問 福祉タクシーの利用状況は。

答 昨年度 3 千枚、本年度 4 千枚を予定、年々増加傾向である。

■ 衛生費

前年度比 2.9% 減額の 10 億 6 千 8 0 0 万円となっている。特徴的的事业は太陽光発電 1 千 5 0 万円、辰野清掃センター道路舗装 4 5 0 万円、鴻ノ田簡易水道配水管整備 1 5 0 万円、療育支援事業費 9 3 万 8 千円が新規事業で計上されました。

健康問題は今後の町の政策的な重要課題であり、保健福祉課、住民税務課、広くは辰野病院、教育委員会を含め、横の連携強化のなかで何が出来るか、どう取り組むかについて、町を上げて、至急に検討すべきであるとし、委員会として町長に要望書を提出しました。

■ 教育費

問 前年度比 11.2% 減額の理由と特徴的内容は何か。

答 各学校の校舎施設の耐震強化対策が進んできたため。また美術館耐震補

強、35 周年行事、図書館、町民会館施設整備、ALT 委託料、児童クラブ委託料、各学校での修理費を計画している。

問 美術館耐震補強や 35 周年行事は、どこからの提案か。

答 協議会やワークショップでの強い要望。

問 児童クラブの方向性は。

答 現在取組んでいる皆さんが引き続き対応して頂ける方向で進んでおり、町としては臨時職員として対応してもらおう検討中で、その人件費 8 0 0 万円を計上している。

問 図書館の利用状況は。

答 毎日 2 百人を超える利用者で日に 2 9 0 冊ほどを貸し出しをしている。尚、年々来館者が増加しているため、貸出本の数を増やしたい。

問 高齢化社会をむかえ、今後図書館利用者も相当増加すると思われるので、新刊図書や図書館祭事について、広報や町ホームページ、ホタル

チャンネルで P R してはどうか。

答 児童を含め今後は、対応していきたい。

問 男女での利用状況は。

答 差がなく最近では家族で来てくれる人も多い。

問 専門書籍や参考図書を現場で見っていく人もあると思うが、コピーサービスは可能か。

答 著作権法の許す範囲可能である。(有料)

問 今後図書館のスペースを考えるうえで、資料のデータ化やフィルム化についてどのように考えているか。

答 タイミングよく検討したい。

問 川島小学校の複式編成の考え方について。

答 国、県の考えを聞き、地域の皆さんの要望を受け取り組んでいる。教育委員会の活動についてもっと知りたい、町民にも多く知ってもらうため広報や町ホームページで、広報活動を強化するよう教育委員長に要望しました。以上一般会計予算は全員

特別会計

一致で可と決しました。本会議においても委員長報告どおり原案可決されました。

■国民健康保険会計

最近の経済情勢を反映し、失業者や低所得者の加入が増加し保険税算定額が落ち込み、基金を取り崩す必要があり、平成25年度は平均6・62%の引き上げ予算となりました。委員から改善策が具体的でないとの意見があり、採決の結果4対1で可と決しました。

この件について国に意見書を提出しました。

■診療所会計

予算総額872万2千円と昨年同額であり、診療体制も同様である。

■後期高齢者医療会計

町は、被保険者からの保険料1.8億円、県の基盤安定繰入金4千万円、町一般会計事務費繰入金750万円を、長野県後期高齢者医療広域連合に納付して行くのが主な業務です。

■辰野病院事業会計

医師不足や看護師不足など引き続き厳しいなかであり、今年度4.8億円の一般会計繰入を計上するなど依然厳しい状況にあります。委員からは、旧病院の解体処理対策、新病院の医療シstemなどの導入や公営企業法全部適用にむけた研究や準備、町の健康作りにもむけた協力体制（人間ドック、医療講座）を確立し、辰野町の魅力として病院を宣伝PRしてはどうか。また心配していた訪問看護ステーション事業が軌道に乗ったとのこと。



■介護老人保健施設

福寿苑は新たに建設される特養施設「福寿苑」とし

て民設民営の施設に引き継がれる最後の年度を迎えています。

介護単価の引き下げで予算は、500万円程減額計上となっています。

問

閉苑時の職員や入所者の処遇について、対応は進んでいるか。

答

順調に進んでいる。来るよう特段の配慮を願いたい。

■介護保険会計

予算総額18億円が計上され、前年度比2千800万円の増額計上となっています。

新たな取り組みとして65才以上を対象にした、生活機能評価のための特定高齢者掌握事業、介護者のリフレッシュを目的とした、家族介護支援事業も開始されるとのことです。委員からは、介護保険財政のさらなる健全化に向けて取り組んで欲しいとの要望でした。

以上特別会計予算6議案は、賛成多数で可決しました。本会議においては、国民健康保険会計において反対、

賛成の討論があり賛成多数で原案可決されました。

●要望書

3月定例会要望事項として次の事項について町長あて要望書を提出しました。

①辰野町国民健康保険特別会計については、大変厳しい実態にあり、これ以上の値上げは無理限界と判断しており、町をあげて引き下げに向けて努力すべきと考えます。その取り組みとして町民に「健康な町づくり」を大きな政策として取り上げ、全町的に推進するよう要望しました。

☆町長答弁

新年度人的配備も含め検討したい。又各課連携のなかで「何が出来るか」検討していきたい。国に対しては、支出金の増額を要請し、制度の堅持にむけ努力したい。



●条例審査

◆障害者自立支援法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

◆辰野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

◆辰野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービ스에係わる介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

◆辰野町指定地域密着型サービズ事業所の指定に関する基準を定める条例の制定について

◆辰野町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

以上5条例の改正や、制定については、国の法律改正や制定に連動しものであり、何ら問題無いとし委員全員一致で可としました。

◆辰野町国民健康保険税の一部を改正する条例について

国保運営協議会の答申を受けて、税率を平均6.62%引き上げるとするものですが、委員からはこれ以上の引き上げは限界とし内容は理解するも適正医療に取り組む方策が見えないなかでの値上げは反対との意見が出され採決の結果4対1で可としました。

委員会として、国に意見書を提出しました。

国民健康保険税の一部改正については、本会議で反対、賛成の討論があり、賛成多数で可決されました。

●意見書

国民健康保険制度に対する国庫支出金の増額を求める意見書

国民健康保険制度は、国民皆保険という趣旨のもと、自営業者を中心に誰でも安心して医療サービスを受けられる制度として、極めて重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、昨今の国民健康保険制度の運営状況は、現役の自営業者が激減する一方で、年金生活者が増大し、被保険者の収入が低下しているため国民健康保険税の税収は伸び悩み、税率を上げてでも予定した収入の半分程度しか確保できない事態に直面しています。

このため歳入不足から毎年保険税を引き上げざるを得ない悪循環に陥っており、制度運営の破綻が目に見えて来ました。この根本原因は国庫支出金が、実に約2/3も減額されて来たからです。

国民健康保険制度の運営を現在の負担の枠組みで、運営していくことは、もはや困難となっており、持続可能な制度として改革していくためには国庫支出を大幅に増やす以外に方法はありません。

よって、国におかれましては、国民健康保険制度が直面している状況を十分に認識し国民健康保険制度に、対する国庫支出金を大幅に増額するよう強く要請

します。

●陳情審査

私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情
提出者
中信地区私学助成
推進協議会

会長 福澤奈津子

本陳情の主旨は多くの保護者や生徒が「公立高校と私立高校」の学費格差を無くして欲しいとするもので、県、国に対して私立高校の教育条件の改善のために、大幅な施設・整備の補助を行うよう意見書を提出してほしいとするものです。
委員全員一致で、一部採択と決し、意見書の提出についても本会議で可決されました。

●議会議場視察報告

平成25年度予算計画及び平成24年度補正予算実施状況確認のため、3月15日に3事業に対しての現場視察を実施しました。

一、羽北保育園耐震補強工事

当保育園は築32年を経過し、本年度耐震診断を実施した結果、耐震指標Is値が最低で0.2と、3ブロック共に基準を大幅に下まわり、子供の保育に非常に危険な状態で早急な対応を痛感しました。また、保育を行ないながらの工事のため、安全の確保と給食対応に課題があり、保育に影響をきたさない工事施工が課題と考えます。

二、辰野美術館耐震補強・エレベーター設置工事

Is値が0.6以下を改善するため、1階2ヶ所の補強と、3階までのエレベーター設置工事の計画であり、来館者の安全確保と車いす対応ができる事業計画です。
耐震費用が690万円で

国庫補助金が約12%を占めるが、予算額が多いとの質問に、基礎からの補強であり妥当であるとの見解であり、また、エレベーターの設置は階段踊り場が狭くなるが車いす対応となり多くの方への対応が可能とのことです。



辰野美術館

三、辰野中学校大規模改造工事(平成24年度繰越)

補正予算に対応する1億4千万余円の大規模改修工事が行われ、トイレの洋式化のなかで、木にこだわった、拭き掃除対応の乾式に変更。施工は卒業生の業者が担当して先輩の思いを伝えていきます。トイレの臭いも消え、大事に、きれいに管理を継承する旨の生徒から感謝の言葉を聴くことができました。

以上3件に対する事業内容、予算、及び執行に対する適切性を認定しました。
Is値II構造耐震の指標
国土交通省の安全の目安としては、Is値が0.6以上。
文部科学省では、Is値が0.7以上が安全の目安となっています。

議会を傍聴して

磯野 美鈴

議会傍聴に参加して7年になります。議員さんの真剣な質問、対しての答弁の光景は新鮮さと緊張感がありました。しかし、終日の傍聴、質問内容に合わせての傍聴はなかなか出来ず、自身の課題意識が薄かったと反省しております。

感想として当初、町長答弁が多く現場(課長)の声が少ない物足りなさがありませんでしたが、最近では、課長の答弁が多くなり、行政の民主性を感じております。また、議員さんの熱意は感じつつ、質問項目が多く、後半の聞きたい項目が曖昧なまま終わってしまうことがあり、質問の絞り込みがあった方がと感じました。残された項目が次回に生かされたか、町側の対応も気になります。もうひとつ、開会時間を早めていただけませんか。特に主婦にとつて時間的な事は気になります。貴重な機会ですので、多くの議員の質問を聞く機会

にしたいと思います。

議会報告会には2回出席しましたが、町民が直接参加できる協働型議会として大変よい機会でした。議員の立場として即答できない事案もあるかと思えますが、聴きたいことに対する答弁の菌切れが悪く「こういう町にしたい!」といった気迫が感じられなかったのは少し残念でした。より活発な報告会になるよう広報などの工夫と、町民の意識が必要かと思えます。

辰野駅前を始め、シャッター通りは気になります。目を転ずれば新病院が息づいています。「狭いながらも楽しい我が家」の歌に習い、町政を注視しながら、町民も前を向き、共に辰野町を創っていきましょう。



編集後記

今回の「議会だより」は平成25年度予算を中心とした3月定例議会委員会審査の内容を主に掲載しました。

私たち、議会広報委員は町民の皆様により解りやすく、親しみを感じて頂けるような広報誌づくりのため、2月に実施された長野県町村議会広報研修会に参加し「議会広報・改革への提言」の講義を受講してまいりました。

全国各町村議会広報誌を参考にさらに研鑽を重ね、議会も各々の資質を高め、人格を磨き、町民の負託にこたえて行きたいと思っております。今後皆様のお届け下さい。

議会広報委員会

- 委員長 宮下敏夫
- 副委員長 永原良子
- 委員 堀内武男
- 委員 中谷道文
- 委員 熊谷久司
- 委員 三堀善業

第4回 議会報告会を開催します



12月・3月定例会の審議経過の報告と町民の皆さまからご意見を伺う「議会報告会」を下記のとおり開催します。

日時 平成25年5月24日(金曜日)
午後6時30分から午後8時
場所 辰野町役場第6会議室(庁舎2階)

多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

